

ごみ最終処分量(東京都)



一般廃棄物長期時系列データ 閲覧システム（簡易版）

※マクロなし版

データ表示の方法

※本マニュアルでは、グラフや
データの解釈は取り扱いません



（パソコンなど大きめの画面で利用されることを推奨します）

1. エクセルを開きましょう

最初に閲覧システムについて説明しています

一般廃棄物長期時系列データ閲覧システム(マクロなし版) ver.1.0 © 2019 国立研究開発法人国立環境研究所

本ファイルは、「一般廃棄物長期時系列データ閲覧システム」の簡易版で、マクロなしで軽快に動作します。
ただし、下記の主要なデータ項目しか閲覧できません。

- ・ごみ総排出量
- ・ごみ総資源化量
- ・ごみ集団回収量
- ・ごみ最終処分量
- ・ごみ直接最終処分量
- ・ごみ経費(歳入)
- ・浄化槽人口
- ・し尿処理量
- ・し尿経費(歳入)
- ・廃棄物処理事業人員(市町村)

各グラフのシート(緑色)では、全国および都道府県別、市町村別、人口規模別に上記データの時系列グラフを閲覧できます。
また、「人口規模別グラフ」シートでは、一人一日あたりの値のグラフも閲覧できます。

データは、オレンジ色の「DATA」シートに記載されていますので、適宜参照ください。
人口規模別の値ならびに一人一日あたりの値のデータは「人口規模別DATA」シートに記載されています。

説明シートがひらいている状態

準備完了

こんなデータが見られるのね



操作のコツ

説明を読み終わったら、次は隣のシートをひらきます

全国_都道府県グラフ

をクリック

2. 全国の都道府県グラフを見てみよう

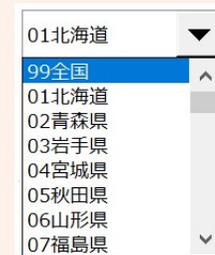
さいしょは「ごみ総排出量」と「北海道」の組み合わせの内容で
グラフが表示されています



2か所
切りかえて
表示の変更も
できるわね



操作のコツ

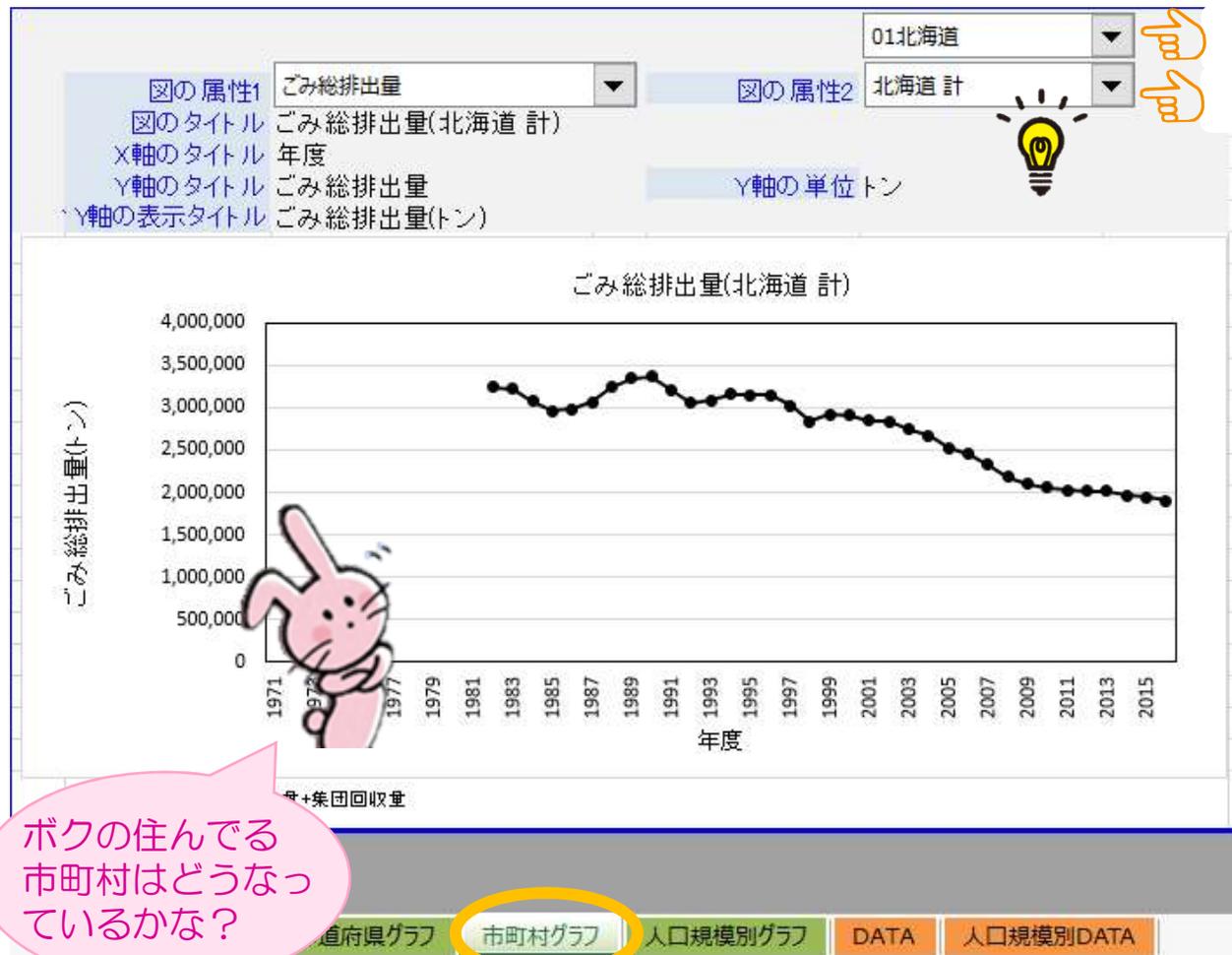


「01北海道」
のひとつ上に
「99全国」
があります

ごみの最終処分量
なんてのも
簡単に見られるね

3. 市町村グラフを見てみよう

「市町村」を切りかえることができるほかは「全国の都道府県グラフ」と同じ要領です



操作のコツ

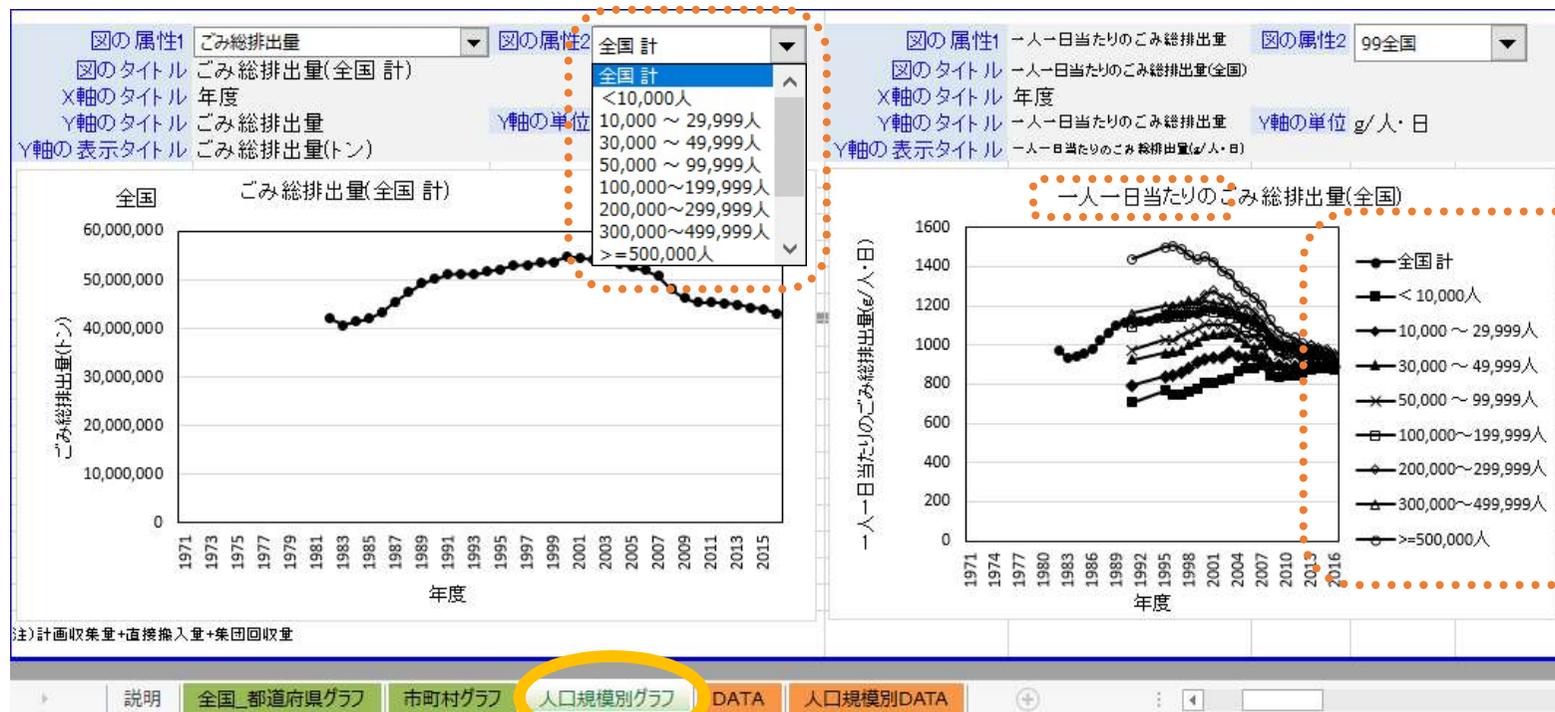
市町村を切りかえるときは、

まず表示切りかえ②で都道府県を選択してから

↓
表示切りかえ③で市町村を選択します

4. 人口規模別グラフを見てみよう

さいごは応用編です。



次ページでまず2つのポイント
「人口規模別」と「一人一日当たり」について説明するよ

4. 人口規模別グラフを見てみよう



「人口規模別」
とは？



人口規模が似たもの同士をグループにしてみると、
それぞれの異なる特徴が見えてきます

人口1万人未満

人口1万人以上
3万人未満

...

人口30万人以上
50万人未満

人口50万人以上

日本全国市町村（東京特別区も含む）はぜんぶで1718あり、人口も様々。これらの市町村を人口規模で8つのグループに分けて、それぞれのグループごとにグラフを描いたものが「人口規模別」のグラフになります。



「一人一日あたり」
とは？



「ひとり」が「1日」にどのような行動をとるのか？
といったことがより明確に見えてきます

「項目の合計値」

「人口の合計値」 × 「年間日数※」

各人口規模別グループ（あるいはそれらの合計）において上記の式で算出したものになります。※うるう年は「366日」、そうでない年は「365日」で計算

5. さいごに

グラフの表示はできましたでしょうか



この2つのシートにはグラフを表示させるための
たくさんのデータが収納されています。
興味のある方は、ちょっと覗いてみてくださいね。
(グラフは表示されません)



閲覧システムについてさらに詳しく見てみたい、操作してみたい方は
以下にアクセスしてください。

<https://www-cycle.nies.go.jp/jp/db/file01/page01.html>